

KOSHIN 蓄圧式噴霧器
 MANUAL SPRAYER

家庭園芸用 薬剤専用 HS-Eシリーズ取扱説明書

安全上のご注意 ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

- ⚠ **危険**：人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される項目
- ⚠ **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される項目
- ⚠ **注意**：人が損害を負う可能性や物的損害の発生が想定される項目

ご使用になる前に製品寿命お知らせラベルの上紙を必ずはがしてください

《上紙のはがし方》
 白い上紙だけをはがすと濃色ラベルが見えます。

はがす

製品寿命お知らせラベル
※本体裏側に貼付しています

《ラベルの見方》
 1側の濃色ラベルの色が、2側の水色と同じ色になったら製品寿命です。

1と2の色の差が大きい → 1と2が同じ色になったら製品寿命です

紫外線劣化するとだんだんと1の色があせて薄い色になっていきます

危険

次の項目は、製品寿命の目安となります。製品に①②のどちらかの現象が見られる場合はただちに使用を中止してください。守らないと製品が破損しケガをするおそれがあります。

①製品寿命お知らせラベルの1と2が同じ色になったとき

②紫外線劣化によりタンクにクモの巣状の細かい亀裂が生じたとき

警告

改造は絶対にしないで下さい。故障や異常動作をし、ケガの原因となります。

噴霧器指定の薬剤以外や、強酸性・強アルカリ性の液体、可燃性の液体(ガソリン・灯油等)溶剤等は絶対に使用しないで下さい。タンクが破裂や爆発する恐れがあります。

薬剤使用上のご注意

注意

薬剤散布後はタンク内を洗浄後、清水を噴霧し、ノズルやホース内の薬剤も洗い流してから圧力を抜いて下さい。薬剤が残ると噴口やストレーナーが詰まったり劣化による故障の原因となります。

散布後はすみやかに圧力を抜いて下さい。加圧したまま長時間放置しますとタンクの早期劣化の原因となります。

薬剤の付属の説明書に従って下さい。

薬剤は適切な濃度でご使用下さい。濃度の高い薬剤は植物を傷め噴霧器故障の原因となります。※粉状・粒状の薬剤はそのまま使用できません。

散布の際は薬剤の付着や吸入を防ぐため、長そで・長ズボンなど露出の少ない衣服およびマスク・めがね・手袋などを着用して下さい。

有機溶剤が多く含まれるトレフアノサイド・ゴーゴサン・スタム・DDVP等には使用できません。製品を変形させ、故障やタンク破損の原因となります。

園芸用のマシン油剤はお使いいただけます。工業油(ガソリン・灯油・潤滑油など)には使用できません。故障や破損の原因となります。石灰硫黄合剤は、ぬるま湯で溶かすと詰まりにくくなります。

故障かな?と思ったら

◎点検等で分解する場合は、必ずタンク内の圧力を先に抜いて下さい。
 ◎蓄圧式噴霧器は構造が簡単ですので、ほとんどの場合、お客様での修理が可能です。下記の「症状→原因→対策→処置」の順序でご確認下さい。処置後、症状が改善されない場合は修理をご依頼下さい。※パッキン類は消耗品です。
 ◎修理をご依頼される際は、交換部品以外に、工賃・送料などが必要となりますのでご了承下さい。

症状	原因	対策	処置
・噴霧しない	タンク内の圧力は上がる(安全弁レバーを上げると「シュー」と音がする。)	噴口のつまり	洗浄する 処置A
・霧の出が悪い	ストレーナーのつまり	洗浄する	処置B
	圧縮不足	安全弁が作動するまで再加圧する	
	吐出ホースの折れ	折れを直す	
	タンク内の圧力が上がらない	ポンプの締め付け不足	ポンプを締め付ける
		シリンダパッキンの紛失	シリンダパッキンを確認する 処置C
		ポンプ部Oリングの油切れ・膨潤・劣化	注油又は交換する 処置C
		吐出弁の膨潤・劣化・紛失	交換する 処置E
		圧縮不足	安全弁が作動するまで再加圧する
・薬液がポンプ部から吹き出す	吐出弁の膨潤・劣化	交換する	処置E
・各接続部より液もれ	ゆるみ・締め付け不足	締め付ける	
・ノズル本体より液もれ	ノズル内部の経年変化		処置D
	Oリングの膨潤・劣化	Oリング交換	処置F
・ノズルのレバーが重い	油切れ	注油する	処置F

Oリングには定期的に少量のグリスを注油して下さい。油が切れると動作不良や水もれの原因となります。※注油は純正品のグリス(シリコングリス PA-186)をご使用下さい。Oリング類、シリンダパッキン、吐出弁は純正品のHS-B/C/Eパッキンフルセット(PA-176)をご使用下さい。

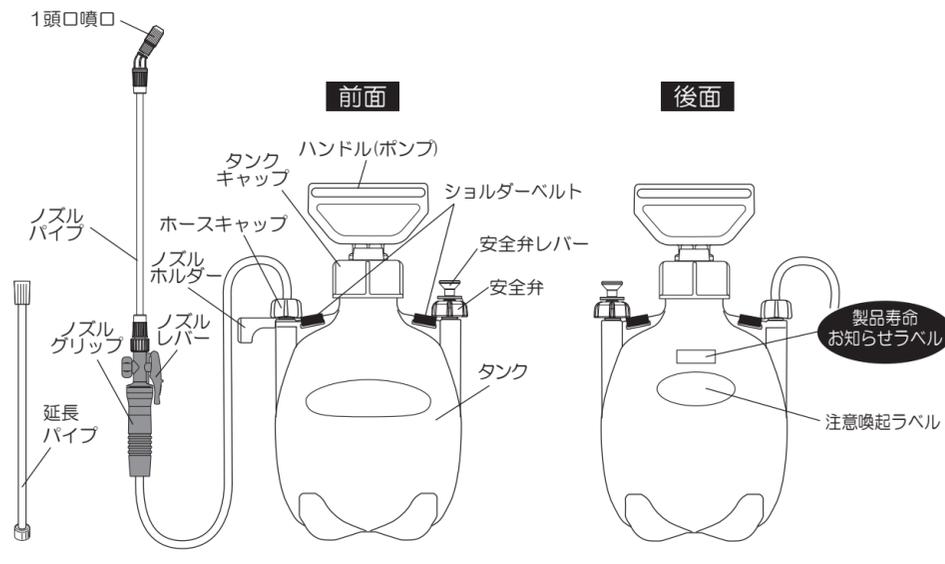
処置A 噴口の洗浄

つまようじ等で穴のつまりを取り除いて下さい。

処置B ストレーナーの洗浄

ホースキャップをはずし、ストレーナーの網目部分のつまりを取除いて下さい。

各部の名称



仕様・性能

機種名	タンク容量	ノズル形式・(全長)	ホース長さ	安全弁作動圧力	噴霧時間	噴霧面積	用途
HS-401E	4L	1段1頭口(38cm)	1.5m	0.2MPa(2kgf/cm ²)	約16分	14~18坪	殺虫剤・防除用
HS-401ET		1段1頭口(38cm) +延長パイプ(37cm) =延長パイプ使用時(75cm)					

※噴霧時間は薬剤の種類により異なります。

お問い合わせ相談窓口

■製品・パーツの販売についてのお問い合わせは
 購入店またはお近くの弊社製品取扱店にご相談ください。

■製品に関するお問い合わせは……お客様相談窓口へ

EX-メール pump@koshin-ltd.co.jp

電話 0120-075-540 平日: 9:00~17:00

会社休業日: 土日祝祭日を除く。
 受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。

株式会社 工進
 〒617-8511 京都府長岡京市神足上ノ坪12
<http://www.koshin-ltd.co.jp>

※製品寿命お知らせラベルは、タンクを含め消耗品の寿命を保証するものではありません。
 ※改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。

処置C

- ①タンクを固定してハンドルをまわしタンクキャップを外します。
- ②ハンドルを引き上げ抜き取ります。
- ③タンクキャップを持ちシリンダをまわして外します。
- ④Oリングに注油または、交換して下さい。
- ⑤タンクキャップにシリンダをまわらなくなるまで締め込んでから、タンクに取り付けて下さい。

処置D ノズル内部の経年変化

すき間(約1mm)から液もれする場合、もれない程度に軽く締めてください。締めすぎると割れるおそれがあります。

処置E 吐出弁の交換

ポンプ先端の吐出弁を手で外して下さい。取り付けの際は隙間が無くなるまで手でしっかりと押さえてください。

処置F ノズル部Oリングの注油・交換

グリスを塗る範囲

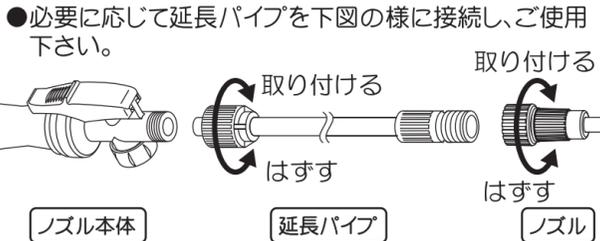
- ノズル本体キャップ
- Oリング(P11)
- Oリング(P5)
- グリス Oリング(S3)
- グリスノズル弁

Oリングには定期的に少量のグリスを注油して下さい。

① ノズルを組み立てます。



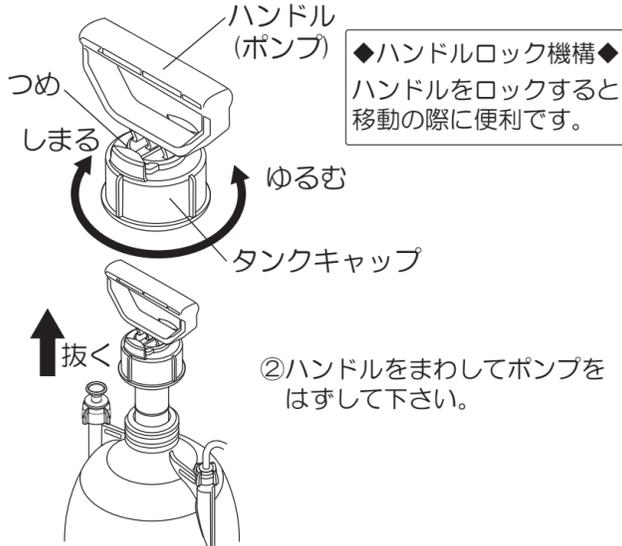
延長パイプ付機種の場合 HS-401ET



注意 接続部にはパッキンが付いています。必ずパッキンがあることを確認して下さい。また、液漏れがないようしっかりと締め付けて下さい。

② ポンプをはずします。

①ハンドルをつめにロックさせ、タンクキャップをゆるめて下さい。

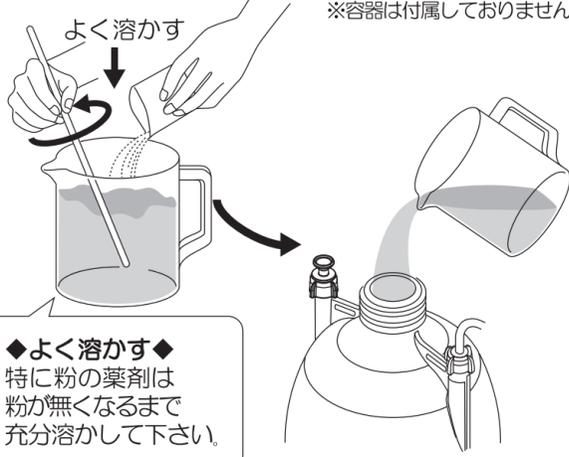


◆ハンドルロック機構◆
ハンドルをロックすると移動の際に便利です。

②ハンドルをまわしてポンプをはずして下さい。

③ タンクに薬剤を入れる。

・別の容器で薬剤を充分溶かしてからタンクに入れて下さい。
※容器は付属しておりません。



注意 前回使用した薬剤が残っていないか確認して下さい。化学反応を起こし、有毒ガスが発生する危険があります。

注意 薬剤は規定量以上入れないで下さい。それ以上入れると噴霧時間が短くなります。(規定容量: タンクに4の目盛り)

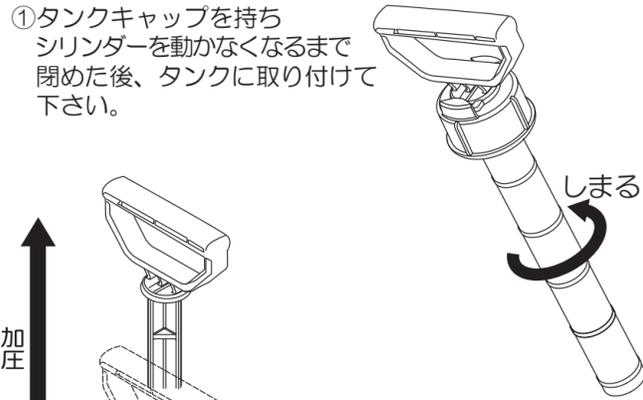
水	薬 剤 (cc = g = mL)		
	500倍に うすめるとき	1000倍に うすめるとき	2000倍に うすめるとき
1L	2 cc	1 cc	0.5 cc
4L	8 cc	4 cc	2 cc

注意 薬剤を入れた後はキャップを確実に締め付けて下さい。締め付けが不十分な場合、加圧時空気漏れの原因となります。

④ ポンプを取り付け、加圧します。

注意 ノズルホルダーにノズルを立てたまま加圧しないで下さい。けがの原因となります。

注意 ノズルレバーが噴霧状態になっていないことを確認してから加圧して下さい。(誤噴霧防止のため)



②ロック解除し、ハンドルを上下させると、タンク内が加圧されます。

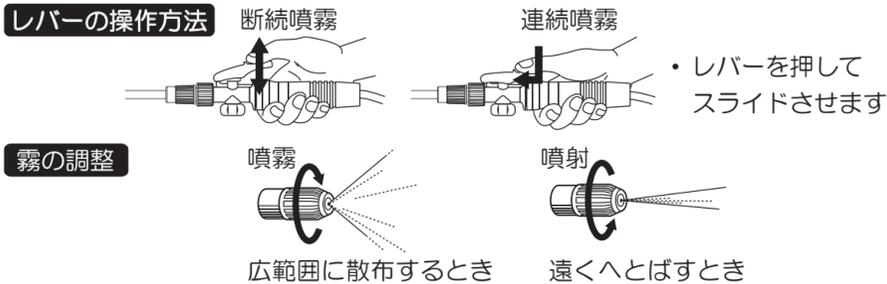
③噴霧適正圧力になり安全弁から「シュー」という音が聞こえたら加圧をやめて下さい。

◆安全弁◆
加圧しすぎによる噴霧器の故障を防止するため安全弁が付いており適正圧になると自動的に圧力が逃げます。

④加圧後、ハンドルはロックして下さい。

⑤ 散布する。

①散布をします。



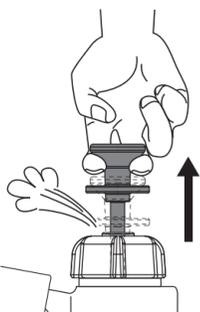
②霧の勢いが弱くなれば再び加圧して下さい。

注意 ○ノズルホルダーにノズルを立てる際、誤ってレバーに触れ誤噴霧しないようご注意ください。
○余った薬液をタンクに入れたまま長時間放置しないで下さい。各部品が傷み、製品寿命が短くなります。

⑥ 使用後はタンクの圧力を抜く。

・散布が終われば安全弁レバーを引き、「シュー」と音がしなくなるまで圧力を抜いて下さい。

注意 ○タンク内を加圧したまま放置しないで下さい。
○ポンプやキャップをはずす際、必ず先に圧力を抜いて下さい。けがの原因となります。



⑦ きれいに洗い、箱に入れて保管する。

・使用後はすぐにきれいな水でタンク内の薬液を洗い流して下さい。
・きれいな水をタンクに少量入れて数回蓄圧し、約60秒噴射してノズルやホース内に残った薬液も洗い流して下さい。
・保管時はタンクキャップを緩めておいて下さい。締め付けによる応力割れを防ぎます。

注意 ○薬液が残るとノズル内で固まり、故障の原因となります。
○使用後は箱に入れるなど直射日光の当たらない場所で保管して下さい。直射日光は早く製品を劣化させ、加圧時破裂の原因となります。



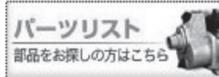
パーツは、必ず指定のものをご使用ください。
パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。
弊社公式Webサイトにパーツ表、価格をご覧いただけます。

ご注文時のお願い 部品番号(7~9桁)または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

パーツ表・単価 <http://www.koshin-ltd.co.jp>にアクセス



■パーツリスト
トップページの「パーツリスト」バナーをクリック



HSシリーズ用オプションパーツ(ノズル・パイプ)

HSシリーズは全機種ノズル・パイプに互換性があり、取り替えも容易です。

機種名	名称	ノズル長さ	JAN
PA-456	1段1頭ノズル組	38cm	4971770-404458
PA-197	2段1頭ノズル組	最長 113.5cm~収納時 63cm	4971770-401310
PA-170	2段2頭ノズル組		4971770-402171
PA-171	4段2頭ノズル組	最長 201cm~収納時 63cm	4971770-402980
PA-106	泡状除草ノズル組	38cm	4971770-101876
PA-107	粒状除草ノズル組		4971770-101883
PA-168	延長パイプ	37cm	4971770-402447

(ご注意)薬害を防ぐため、噴霧器本体は消毒と除草の兼用使用はしないでください。